

競技注意事項

2019 春季競技会

1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

* この大会に表彰・賞状はありません。

☆ 来年度から、プログラムはすべて予約販売とします。当日販売分は準備しませんので注意ください。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) 2019年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。跳躍競技は胸または背につけるだけで構いません。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

今大会は、北陸上競技場・レクリエーション広場が使用できません。

- (1) ウォーミングアップは、本陸上競技場のバックストレート側をウォーミングアップ場として以下の通り使用できます。
 - 1日目 バックストレート 400mR 第二走者入り口付近～3000mSC 大障害付近まで。
 - 2日目 バックスタンド前棒高跳ピット付近～100m スタート地点付近までのレーン外部分。

当日は、他の競技種目進行の妨げにならないように競技役員の指示に従ってください。

練習での各ハードルの置き方は以下の通りとします

（これ以外は設置しないでください）。

1日目は、3レーン中学女子100mH、4レーン女子100mYH、5レーン女子100mH、6レーン中学男子110mH、7レーン共通男子110mJH、8レーン男子110mHのみとします。
2日目の400mHは、5～6レーンを女子用、7～8レーンを男子用の高さとし
ます。

瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用については、ジョギング・ドリル程度の使用とします。晴雨にかかわらず利用を認めますが、使用の際はプログラムに記載の雨天走路の使用についてをよく読んで、競技役員の指示に従ってください。

なお、すべての練習場所で持ち込みの牽引用チューブ・ミニハードル等の使用は禁止します。

- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、100m スタート付近競技者ホールに設けます。
すべての種目の招集をこの場所で行います。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	35分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	55分前	40分前

5 競技場への入退場について

(1)退場は、下記のとおりとします。

トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路あるいは、1F中央の通路を経て退場してください。なお、1F中央の通路はスパイクシューズでの歩行を禁止している場所がありますので注意してください。

フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

6 レーン順・試技順について

(1)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。

(2)欠場者のレーンはセパレートレーン種目では空けます。1500mについては競技役員の指示に従ってください。

(3)リレー種目で、欠場チームが多い場合は組み合わせを変更する場合があります。事前に欠場する場合には、本部までお知らせください。

7 競技について

(1)トラック競技について

この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施します。

①すべての種目をタイムレースとします。

②すべて写真判定装置を使用します。

③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。

⑤同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。

⑥リレーのオーダー登録は、プログラムに記載している6名のうち2名を必ず起用してください。それ以外は、プログラムに記載されている選手であれば、自由にオーダー登録できます。

⑦レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。

(2)フィールド競技について

長さを競う競技のトップ8は実施しせん。すべての種目で3回試技とします。

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。

②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。

③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。

(3)競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。

(4)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。

(5)この大会に表彰・賞状はありません。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	
Aピット 男子走高跳	1m60	1m85	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後3cm
Bピット	1m40	1m65	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m80までは 5cm、以後3cm
男子棒高跳	3m00	4m00	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	以後10cm
Aピット 女子走高跳	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後3cm
Bピット	1m25	1m45	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m60までは 5cm、以後3cm
女子棒高跳	2m00	2m40	2m00	2m20	2m40	2m60		以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定戦のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

11 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 今回の開門時刻は、午前8時15分とします。それ以前には立ち入らないでください。また、申込数に応じて、2F・3Fのバックスタンド裏の待機場所を指定しますので、**場所取りは行わない**でください。
- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張れません。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入ってははいけません。
- (4) **清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努めてください。**

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番をは 13日 守山西中、神の倉中、14日 吉根中、天神山中
にお願いしています。

各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会はコンピューター・大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の**間違いがあれば本部に申し出て**ください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。

- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）**において処置が受られます。なお、**応急処置後の治療は、本人負担とします。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、**メインスタンドのみ**とします。それ以外での区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、走高跳・棒高跳等で試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※許可区域以外での撮影や、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。